

事業名	バスターミナル指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	都市建設部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	交通政策課			款	2	新規or継続	継続事業
	係	地域交通係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	532	名称	根拠法令、条例等	目	23	義務or任意	任意の事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	佐野市バスターミナル条例	事業期間	開始年度	H23	実施方法
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり		終了年度		事業分類	指定管理者
	施策	2	公共交通網の整備					施設維持管理事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	本市の玄関口であり、高速バスや市内路線バスの交通結節点である佐野新都市バスターミナルを、指定管理者により民間のノウハウを活用した運営を行い、利用者へのサービス提供の向上を図る。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	高速バス利用者の利便性の向上を図る。
-------------------------	--------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
高速バス利用者数	人	505,000	372,000	420,000	444,000	483,561
バスターミナル駐車場利用台数	台	24,700	37,000	41,900	44,400	46,900

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・指定管理者（ジェイアールバス関東(株)）による施設の維持管理 ・待合室トイレの洋式化改修工事を実施 ・施設の修繕等（駐車場舗装等修繕・屋外排水管修繕・管理棟付柱塗装修繕）を実施 ・次期指定管理者の選定手続（指定期間：令和6年度～令和9年度）
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
指定管理者との協議・打合せ	回	14	15	32
事業費計	千円	14,164	400	1,360
一般財源	千円	14,164	0	0
特定財源（国・県・他）	千円		400	1,360
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	高速バス利用者数及びバスターミナル駐車場利用台数が増加した。
------------------	--------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
高速バス利用者数	人	168,442	268,928	318,701	値が大きいほど良い	効果が上がった
バスターミナル駐車場利用台数	台	23,616	38,185	42,048	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数2指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数0指標
	指標全体効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

指定管理者の運営により民間活力や民間ノウハウを活用したサービスの向上が求められている。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り） バスターミナルの適正な維持管理を行うとともに、交通結節点としての利便性向上に繋がる機能強化を検討する。